研究実施のお知らせ

2021 年 6 月 22 日 ver. 1.1
2026 年 10 月 13 日 ver. 2.0

研究課題名

内因性疾患に対する Hybrid ER 使用の基礎疫学的調査

研究の対象となる方

2017 年 8 月から 2027 年 12 月の間に島根大学医学部附属病院救命救急センターまたは高度外傷センターを受診し内因性疾患に対し Hybrid ER で治療を受けられた方、および上記の期間に島根大学医学部附属病院に入院しており、内因性疾患（敗血症、消化管出血、分娩後出血、大動脈瘤破裂など）のため Hybrid ER で治療を受けられた全ての方が対象です。

研究の目的・意義

2011 年に日本で救急領域では世界初となる Hybrid ER システムが導入されました。当院では 2017 年 8 月より高度外傷センターに世界初のテーブル回転式 Hybrid ER システムを導入しました。これは、患者さんを診療台から移動することなく CT 撮影、外科手術、放射線透視検査および血管内治療を行うことができる設備です。外傷領域においては Hybrid ER で診療を行うことにより治療成績が向上することが示されていますが、内因性疾患に対しては Hybrid ER がどれほど有効に使用できるか、未だわかっていません。当院では外傷患者さんだけでなく、重症内因性疾患の患者さんに対しても Hybrid ER で診療を行っており、院内で状態が急変した患者さんや入院中の重症患者さんにおいても Hybrid ER に移動して検査・治療を行っています。

このため本研究では、Hybrid ER に入室した内因性疾患の患者さんがどのような疾患であったのか、どういった状態であったか、どのような検査・治療が行われたのか、入室から検査、治療が開始・完了されるまでの時間はどの程度であったか、輸血はどれほど投与されたか、その後の転帰はどうだったか、といった基礎的データを集積することで疫学的調査を実施します。その結果をもとに、重症内因性疾患においてどのように Hybrid ER を有効利用するか、重症内因性疾患の患者さんの診療成績をどうすれば向上できるかを検討します。

研究の方法

内因性疾患のため Hybrid ER で診療されたすべての患者さんの基礎的疫学的調査を行います。救急搬送された患者さんについては発症から病院搬送までの病院前の状態

（病歴、発症時の状況、搬送手段などの病院前情報）、来院から治療終了（入院の場合は入院の経過など）までのバイタルサイン（呼吸数、血圧、脈拍数、意識、経皮的動脈血酸素飽和度など）、治療で行われた検査結果（血液検査、CT 検査、レントゲン検査、内視鏡検査など）および治療内容（手術、血管内治療、内視鏡治療、輸血投与、人工呼吸器）などの情報を電子カルテから収集し、疾患および重症度に応じた治療内容・治療結果の検討を行います。各データは年毎に解析され、今後の重症内因性疾患の患者さんの治療成績向上のために活かされます。

研究のために通常の診療に追加して、検査や治療が行われることはありません。また、本研究では、他の機関に検体や情報を提供する予定はありません。また、集積されたデータは容易にアクセスできない PC 内に保管され、セキュリティーが設定された環境下で保管されます。また研究以外の目的に個人情報が利用されることはありません。

研究の期間

2021 年 9 月 27 日～2029 年 12 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：渡部　広明
島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、研究期間中における初回受診日から半年の間にお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：
島根大学医学部 Acute Care Surgery 講座／附属病院高度外傷センター　渡部　広明
〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話　0853-20-2757　　FAX　0853-20-2753